

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 93

今月のテーマ 秋田県民のデータに学ぶ

先月号では新年を展望するというお題であったが、皆さんは展望できたであろうか。様々なデータからも秋田県民は事前の計画や準備が不得意（自己反省を含めて）なようだが、しかしそうと聞き直って笑ってもらえない。

かつて、江戸っ子は「宵越しの金は持たねえぜ…」と切符の良さが売りだったようだが、秋田県民はそんなところがあるのだろうか…？そんなんでも、昔は何とかなったのかもしれないが、今の時代では、宵越しのお金がなかったら暮らしは成り立たない。宵越しのお金を持たないどころか、借金に追われるなんてことにもなりかねない。

良くも悪くも暮らし向きは便利で豊かになったといえるのかもしれないが、その分、生活費は格段に大きくなっている。今更、洗濯板でもないだろうし、携帯電話なども生活必需品となったし、後戻りはできない。科学の進歩はあらゆる場面で人類の暮らしに劇的な変化をもたらした。肉体労働や家事労働の負担はそれにより大きく軽減し、家族のレジャーでの楽しみ方も多様化し、本当に豊かになった。

しかし喜んでばかりもいられない。反面では新たな犯罪や事故も増えることになったし、人の抱えるストレスも大きくなっている。科学の進歩に反比例し、能力や体力、また人間本来の感性までもが失われているような気がしてならない。もうそろそろ“この辺で止まっても良いのでは…”と考えるのは、時代遅れのおじさんのたわごとだろうか…？

さて、愚痴はこれくらいにして話をもとに戻し、明日を考えてみよう。明日とは明日ではなく将来のことだ。ただし、将来を考えるには、先だけを見ていれば良いというものではない。「灯台下暗し」にならないためにも、あえて現状を認識することから始めなければならない。これが、なかなかどうして簡単ではない。灯台下が明るければまだしも、それぞれの家計が抱える問題は少なくないだけに、現実を受け入れるには少しの勇気があるようだ。現状認識を避けては通れないし、それを踏まえて中期、長期にわたっての将来を展望できるというものだ。皆さんの足元も然ることながら、まずは秋田県の現状から確認してみよう。



秋田県のデータに学ぶ

データというものの、見方・捉え方を誤れば、事の本質がぶっ飛んでしまいかねない。客観的に見ることは当然ながら、前向きに活かすことによりそのデータの価値は上がるというものだ。

秋田県のデータの中には、他の都道府県とは異なる様々な特徴を持ったものもある。我々の日常で当たり前のことが、実は他とは違っていたりする。単純にそれらの数値やランキングを知ることによって、その背景や原因を探ることで、「人のふり見て我がふり直せ」の気づきと改善すべきことが見えてくるかもしれない。

今月号は、秋田県の様々なデータに着目し、秋田県の客観的な現状を知り、今後の生活設計や家計の見直しに役立てられないかを考察してみよう。

暮らしに役立つ情報サイト

先月号でも紹介したが金融広報中央委員会では、「私たちの暮らしに役立つ身近なお金の知恵・知識情報サイト」「知るぼると」(<http://www.shinoburo.jp>)の中で、実に広範囲に及ぶ情報を提供している。検索キーワード「知るぼると」で簡単に見つけられる。

大きなくりだけを紹介すると、「暮らしとお金」、「働く」、「家庭・子供」、「住まい」、「老後」、「万への備え」、「暮らしのチェック」、「データ資料室」があり、様々な広報誌や刊行物も発行している。暮らしに役立つこと請け合いの情報が満載なので、皆さんにも是非お勧めしたい。今回はその中の刊行物で平成26年度版「暮らしと金融」の中でも「データ」の中を覗いて見ることにしよう。



齋藤廣勝 (さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®ローティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

保険と暮らしの相談センター

住宅ローンの見直し相談会実施中!!

ひとつでもあてはまる方は、お気軽にご相談ください!!

- 現在の返済額を軽減したい
- 住宅ローンを借りているが、一度も見直したことがない。
- 現在借りている住宅ローンの内容がよくわからない。
- 借換と繰上返済、それぞれの効果を比較したい。

お気軽にご相談ください。

株式会社 トータルライフサポート
〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間：9:30～19:00 ●休休日：水曜日

TEL 018-827-7611
FAX 018-827-7610
URL <http://tls-akita.co.jp>

詳細はホームページでもご覧いただけます。

● 常用労働者現金給与総額(平成24年)

調査したのは厚労省の「毎月勤労統計調査地方調査」によるもので、調査の対象となった事業所は常用労働者5人以上の33000事業所である。秋田県の給与総額は25万2284円で都道府県順位は44位、全国を100とした場合80.3で約20ポイント低く、東北では最下位となっている(表1)。この給与総額の順位で、裕福・幸福の度合いを判断するには性急すぎるが、実際に給料が低いことは事実なのである。でも、少ない給与を嘆いても変わるわけではない、秋田県に住む良さを認識し、給与に見合った生活をすれば、給与総額の順位は大きな問題ではないのかもしれない。

(表1)

順位(降順)	都道府県	全産業計(円)	全国(100)
47	沖縄	242,857	77.3
46	宮崎	246,801	78.6
45	鹿児島	248,673	79.2
44	秋田	252,284	80.3
43	青森	252,984	80.5
42	長崎	256,605	81.7
***	**中略**	***	***
6	滋賀	309,859	98.6
5	三重	310,261	98.8
4	神奈川	327,678	104.3
3	愛知	327,693	104.3
2	大阪	336,238	107.0
1	東京	405,792	129.2

*現金給与総額は、毎月決まって支払われるものと特別に支払われた給与の合計額

● 関連データ

東洋経済社の調査によると秋田県の幸福度ランキング(総合)は28位。スポーツで見ると教育分野では4位と高いが、仕事分野では37位と低く給与の額とは必ずしもリンクしない。また、世界の幸福度ランキングはというと53位で先進国では最も低く、1位はスイスで北欧諸国が上位を占めている。

さて、話はどうも逸れていくようだが、「世界一貧乏な大統領」で有名な「ムヒカ元大統領」の国、ウルグアイは29位と日本よりも大きく上回っている。彼のスピーチの一節に「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」とある。この言葉は世界中に大きな感銘を与えたと、多くの人が考えさせられたに違いない。お金のことや、データばかりを見ていたと面白いことばかりでもないし、思いだしたのであえて引用してみた。無いことを憂いているより、あるものに着目することも大切だ。

昨年、旅行した際にホテルの方が、「この土地は自然以外何も無いんですよ」と言っていたが、何も

● 都道府県別消費支出

無いのが自然であり、それ自身が宝でもある。都会には何でもありそうにも思うが、実はあって当たり前である筈の自然は少ない。一方秋田県は素晴らしい。秋田での幸福な暮らしを考えてみよう。

こちらのデータも「知るぼろ」との中にある。暮らしと金融なんでもデータの中に掲載されている。前項でのデータが収入であるのに対し、こちらは消費支出だ。消費支出は暮らしがある限り当然であるが、問題は金額と支出の内容だ。

支出金額の多い1〜10位までと、支出金額の少ない38〜47位までの20都道府県の順位を別表にしてみた(表2)。全国の消費支出を横一線と比較することには無理があるかも知れない。秋田の場合、公共交通機関が少ないため、マイカーへの支出も大きくなるだろうし、寒冷地がゆえに暖房費もかさむことを考えれば高くても当たり前と思えるかもしれないが、どうやらそうでもない。それぞれの都道府県にはそれぞれに特殊性もあり、費目を単一的に見る場合はそれぞれの特異性を割り引いて考えないといけない。

● 秋田県の県民性

なぜ、秋田県の消費支出が高いのか? 明確な理由は見えてこないが、秋田の県民性と何か関係があるのだろうか?

秋田県民の県民性として、勤勉性“はよく知られるところだが、”秋田のえふりこぎ“もよく言われている。具体的に何がと言わ

れると言葉に詰まってしまうが、その一端が垣間見えるデータもある。少し古いデータではあるが、秋田県学術国際部調査統計課によって編集された「シンブル統計秋田」というもので、秋田県の現状のデータ(平成16年家計調査年報より抜粋)を多方面にわたってまとめたものだ。この中には「ミクロ統計」として、身近な商品の購入金額と都道府県の順位が載っていて、えっ!? 本当なの? と疑いたくなる軒並み高い数値が並んでいた。その当時の消費支出ランキングは13位で、直近の6位よりも低いのだが、この時点で購入金額が3位以内に入っているものを見てみると、「メロン、イチゴ、鮮魚、生鮮野菜、清酒、ビール、ワイシャツ、洗濯代、理髪代、自動車、自動車関連、小遣い」などのオンパレードだ。これらのデータをもって無駄遣いと決めつけられるものではないが、現実を受け止め、家計支出の見直しを改めて考えねばならないことを伺わせる。皆さんも様々なデータに関心を持ち、活用していただきたいものだ。

● 来月号は...

秋田県のデータを真摯に受け止め、家計の現状を知り、家計の健康診断を考えてみることにしよう。

(表2)

順位		消費支出	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	その他消費支出
1	栃木	287,708	59,197	24,142	20,440	9,396	10,697	12,900	47,848	9,628	30,234	63,226
2	奈良	281,256	62,128	22,680	20,402	10,805	11,150	13,216	36,269	12,400	28,314	63,893
3	石川	278,637	64,873	14,709	22,604	9,722	10,679	11,932	44,977	13,047	26,521	59,574
4	埼玉	265,405	60,782	21,159	21,101	8,272	12,162	10,758	29,116	16,151	29,135	56,767
5	東京	265,373	65,044	27,760	18,206	9,719	13,012	12,794	26,930	11,507	30,814	49,587
6	秋田	264,463	59,209	25,523	23,312	9,892	9,764	10,550	32,377	7,032	25,884	60,922
7	鹿児島	264,368	53,519	24,167	17,295	8,509	12,027	11,401	38,909	11,848	23,605	63,089
8	三重	263,213	56,374	13,047	19,005	9,334	9,239	11,468	48,008	7,192	32,174	57,372
9	富山	262,343	60,139	20,125	22,257	7,880	9,791	9,862	35,431	5,980	24,123	66,755
10	神奈川	261,287	67,023	21,962	17,456	7,739	10,552	10,293	37,319	9,336	30,724	48,883
38	長崎	223,685	53,314	15,918	18,464	6,828	8,737	9,322	29,801	4,889	19,188	57,224
39	和歌山	222,862	56,522	12,487	18,480	8,506	8,473	9,996	23,790	7,543	22,803	54,263
40	佐賀	221,585	49,246	22,423	16,471	8,984	9,043	13,144	29,705	6,384	17,676	48,510
41	宮城	218,661	50,329	16,047	17,779	8,893	11,480	7,986	29,032	6,831	24,266	46,018
42	青森	215,792	51,725	14,794	25,716	8,317	8,617	9,281	25,258	6,213	20,484	45,387
43	愛知	212,988	58,150	15,717	16,570	6,554	9,499	7,835	25,110	7,589	24,400	41,566
44	島根	211,667	46,234	20,986	19,847	6,830	6,841	7,913	28,494	2,121	24,997	47,404
45	山口	211,144	43,851	20,406	16,753	7,717	6,855	9,701	33,748	3,310	19,641	49,164
46	千葉	208,385	55,886	13,340	14,141	6,029	8,871	8,892	32,195	4,633	25,283	39,116
47	沖縄	190,446	46,967	26,408	15,209	5,540	5,498	7,201	23,769	4,247	16,913	38,694
	全国	247,494	58,795	19,592	19,035	8,453	9,995	10,948	33,103	8,553	26,009	53,010